

かがやけ 岩小っ子

すべては子供たちの笑顔と安全のために

大岩田小学校（小中一貫校）

学校だより

令和8年5月 若葉号

文責：福原 和枝

爽やかな風に若葉が揺れ、校庭には子供たちの元気な声が響いています。子供たちは、新しい環境にも少しずつ慣れ、学習や運動に一生懸命取り組んでいます。その頑張る姿に、私たち教職員も日々力をもらっております。

今年度も、地域の皆様や保護者の皆様には、登校時や下校時に、交差点や通学路の要所に立って子供たちを見守ってくださり、心より感謝申し上げます。皆様の温かな眼差しと優しいお声がけから、子供たちは「自分たちは守られている」と実感し、防犯意識を高めることができっております。また、何より地域の皆様や保護者の皆様との挨拶を通して、社会の一員としてのマナーも学ばせていただいております。ご多忙の中、活動を続けてくださる皆様に、この場をお借りして深く御礼申し上げます。ありがとうございます。

さて、本校では今年度、これまで以上に「安心・安全な学校づくり」に力を入れております。すでにご案内しております通り、今年度より「入校証の着用の徹底」、および「子供たちが校内に滞在する時間帯の正門からの車両乗り入れ制限」（子供が滞在時間帯は裏門から入り中庭付近に駐車）を本格的に運用しております。

保護者の皆様には、来校の際にお手間をおかけしたり、天候の悪い日の送迎でご不便をお感じになったりすることもあるかと存じます。しかし、これらの取り組みには、「不審者の侵入を防ぎ、子供たちの学習環境を守ること」「校内での接触事故を未然に防ぎ、登下校の安全を確保すること」の2つの目的がございます。昨年度は、校内で車両同士の接触事故が2件発生いたしました。

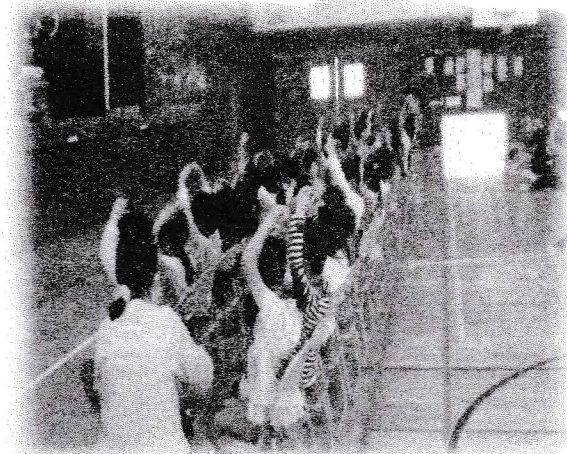
学校は、子供たちが安心して失敗し、安心して学べる場所でないといけないと考えます。その大前提となるのが「身体の安全」です。万が一の事故が起きてからでは遅すぎます。「これくらいなら大丈夫」という油断を排し、組織として一貫したルールを運用することが、結果としてお子様一人一人を守ることにつながると確信しております。

「自分の子供を守るとは、地域すべての子供を守ること」そのような視点で、この新しいルールを温かく見守り、支えていただければ幸いです。なお、子供たちが下校した後の児童クラブや金管バンド等のお迎えは、正門駐車場をご活用いただいで大丈夫です。

最後になりますが、学校・家庭・地域の三者が「安心・安全」という一つのタスキを繋ぎ、これからも子供たちが笑顔で通える環境を共に作っていただくと願っておりますので、5月も引き続き、学校へのご支援・ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

校長 福原 和枝

令和8年度 1年生をむかえる会



1・2年生の交流会



1年生の朝のお世話

